



読字 原田 鏡

No. 742

2014/9/5

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区  
本郷1-1-18073333

日中友好協会  
岡山支部  
〒713-8256  
岡山市東区3-8-30 514  
TEL:0861272-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8911  
倉敷市遊島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



# 映画「望郷の鐘」の撮影を見学 ステキな映画になると確信

6月20日に制作上映  
推進委員会・おかやまを  
立ち上げ、2カ月余りが経  
過しました。現在、岡山県  
内の賛同者は32人、製作  
協力券の配布1260枚そ  
のうち入金が780枚で  
す。

映画の撮影は7月24日  
に、長野県阿智村を中心  
に始まり、炎暑のなか順調  
に進んでいます。今回は撮  
影現場を見学し、スタッフ  
を励ました長崎さんから、  
報告してもらいます。



前列左から主演の内藤さんと山田監督  
後列右端が長崎さん



私は北朝鮮からの  
引き揚げ者。それ故、  
現代プロダクション・山  
田火砂子監督が、中  
国残留孤児の父・山本  
慈紹さんを描く、映  
画「望郷の鐘 満蒙開  
拓団の落日」に大いに  
期待している。その撮  
影現場を、7月下旬に  
見学する機会を得  
た。

この映画は山本慈紹  
さんのお寺・長岳寺の  
ある長野県阿智村で、  
オールロケで撮影され  
ている。到着した日には、昼神  
温泉横の河原で焼き肉パーテ  
イが開かれていて、山田監督  
を始めとして主演の内藤剛志  
さんや渡辺梓さん等と少し  
だけお話しできた。内藤さん  
に「暑い時の撮影は大変ではな  
いですか」と伺うに、「暑い時  
期の引き揚げであり、その雰  
囲気が伝わると嬉しいので頑  
張っている」と仰られた。その  
翌日は、中国からの引き揚げ  
シーンの撮影。渡辺梓さんは、  
子役のお子さんをなつくよう  
にと休憩中も抱いたまま。真  
夏の暑さを上回る熱気で、撮  
影は続けられていた。ステキな  
映画が完成すると確信した。

せつかなのでと長岳寺と  
隣の満蒙開拓団の歴史を伝  
える全国初の施設 満蒙開拓  
平和記念館にも訪ねた。  
満蒙開拓団に加わったのは  
長野県が第一位です。  
12月9日(火)の完成披露  
試写会には、渡辺梓さんが駆  
けつけてくださる。軍靴の足  
音が聞こえる今、必見の映画  
と考える。今から観て下さる  
ようお願いする。

長崎 司

(元岡山市文化製作担当部長)



2013年8月4日長野県阿智村の会議室 立って原稿を読んでいる人の前が則武弁護士娘さん



# ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？ 85

竹内和夫



## 教科書をつくろう (4)

A: いきなり練習問題(4)です。つぎの文を単語にわけて、ローマ字で書きなさい。

「世の中のできごととはといえば、選挙の規則があらたまって、普通選挙法というのが生まれ、二月にその第一回の選挙がおこなわれた、二か月後のことになる。」

(『二十四の瞳』はじめから2番目の文)

よく考えてね。こまったときの強い味方は「辞典」です。アクセントは、ときに単語として、まとめる力をもつ。

B: 「世の中」は yo no naka? それとも yononaka? 「家中」や「箱の中」とくらべてみよう。「二か月後」の後はアトと読むか、ゴと読むか作者の壺井さんに聞くわけにもいかないが、ゴと読むことにしよう。

C: 練習問題(4)の答えは、そのうちに出します。宿題にしておきましょう。ところで、名詞の変化がニホン語にない、というけれど、「本が、本の、本を、本に」というように語尾変化するという考えもあるんじゃないかしら?

つづく

2006年頃までは、孤児「訴訟支援活動」として、販売部数は年々増加しました。しかし、近年は、尖閣諸島の領有権問題をめぐる日中双方のマスコミの影響もあり、日中関係の悪化とともに、販売活動は厳しい状況にあります。とくに今年には、緊急募金のお願いや「望郷の鐘」の製作協力券の販売などとなり、一層販売活動が厳しくなっています。

これまでの不戦、平和運動や太極拳、中国語講座などの文化活動でのつながりを生かし、情勢に臆することなく販売活動を進めましょう。下記連絡先へお申し込みください。

### カレンダー購入の申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部  
電・FAX 086-272-3010 (竹内和夫)  
電・FAX 086-277-2470 (小林軍治)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部  
電・FAX 086-446-2711 (宮地義男)
- ☆ 総社日本語教室 事務局  
電・FAX 0866-99-2560 (西森文子)

次回の新聞発送作業は9月11日(木)午後1時半〜民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林和夫  
竹内和夫

「私には不都合なものであっても、正しい歴史を学ぶことこそが、中国との友好の出発点となるのではないだろうか。坂本さんの本は、そのことを私に教えてくれた。」

2015年度カレンダー「中国悠久の旅」の販売が9月20日から始まります。今年度は岡山支部で350部、倉敷支部で100部の目標を立てました。

この11年間は、多くの県民のみなさんの御協力で販売活動はすすみました。

- ・2003年・・・335部
- ・2004年・・・460部
- ・2005年・・・580部
- ・2006年・・・700部
- ・2007年・・・520部
- ・2008年・・・600部
- ・2009年・・・500部
- ・2010年・・・530部
- ・2011年・・・540部
- ・2012年・・・500部
- ・2013年・・・500部

2006年頃までは、孤児「訴訟支援活動」として、販売部数は年々増加しました。しかし、近年は、尖閣諸島の領有権問題をめぐる日中双方のマスコミの影響もあり、日中関係の悪化とともに、販売活動は厳しい状況にあります。とくに今年には、緊急募金のお願いや「望郷の鐘」の製作協力券の販売などとなり、一層販売活動が厳しくなっています。

## 正しい歴史を学ぶことが中国との友好の出発点

次に紹介する文章は、則武弁護士のお孫さんが孫に語り伝える満州(坂本龍彦著・岩波ジュニア新書)を読んだ感想文の一部です。

———〇———

今回、私がこの本を読むきっかけとなったのは、夏休みに長野県阿智村にある満蒙開拓平和記念館に行ったからだ。

私は、記念館に展示されていた開拓団の方の証言集を読んだ。衝撃を受けた。前途を悲観して集団自決することになり最後に生き残った話。敗戦前にさんさん日本人が痛めつけていた中国人から親切にされた話。収容所のなかで飢えと寒さで多くの人が死んでいく話。ひとつひとつの証言が、重い話ばかりで、私はしば

らくその場を離れることができなかつた。

戦争は悲惨だ、ほんとうは国民を守ってくれるはずの軍隊が真っ先に逃げて、最も弱い立場の老人、女性、子どもに被害が集中する。戦争という極限状態のなかでは、人間のもっともみみにくい本質が明らかになる。だからこそ、このような戦争の悲劇を決して繰り返してはならない。坂本さんもそんな思いでこの本を書かれたことだと思う。

今、尖閣諸島の領土問題などをめぐって、日本は隣国である中国と険悪な関係になりつつある。私は、戦争のことを直接には知らない世代だ。でも、たとえ、それが目を背けたくなるようなものであっても、日本には不都合なものであっても、正しい歴史を学ぶことこそが、中国との友好の出発点となるのではないだろうか。坂本さんの本は、そのことを私に教えてくれた。

# 2015年カレンダー 中国 悠久の旅



B3判(縦515mm×横364mm) 13枚綴り  
定価 1,200円(税込・送料別)



企画・制作 日本中国友好協会 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会ビル3階 ☎03-3234-4700 ☎03-3234-4703 E-mail: nicchu@jcfca-net.jp

## 2015年度カレンダー 「中国悠久の旅」 9月20日 販売開始